

第1章 中小企業・小規模企業振興計画の目的

■ 中小企業・小規模企業振興計画とは

中小企業・小規模企業の振興に関する方針と施策内容の共有を図り、町内のそれぞれの主体が積極的に参画・連携・協力しながら中小企業・小規模企業の振興を推進することを目的としたものです。

【第1期】

広陵町では多くの魅力ある中小企業・小規模企業が存在していますが、社会情勢の変化から多くの課題に直面しているのが現状です。そこで、まちの動力源である中小企業等の持続的な成長・発展がなければ、広陵町の活性化は成されません。そこで、2018年10月に、広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、この基本条例に基づき、2019年4月に広陵町中小企業・小規模企業振興計画を策定しました。

【第2期】

第1期の計画の策定から5年が経過した今、基本条例により、経済状況の変化や計画の進捗状況、国及び県の動向等を見据えながら、必要に応じた見直しを行います。本計画の計画期間は2024（令和6）年度から2028（令和10）年度までの5年間とします。なお、経済情勢の急激な変化等に応じ、適宜見直しを行います。

■ 広陵町が目指す将来像

第5次総合計画は、町の将来目標を示す最上位の計画であり、魅力あるまちづくりを推進するための総合的かつ戦略的な行政運営の指針となる計画です。目指す将来像は「**be Happy ~未来につながるまち 広陵~**」

■ 第1期の計画により、達成したこと

（1）一般社団法人広陵町産業総合振興機構（通称、「なりわい」）



広陵町の産業・農業・観光といった各分野が持つ特色や強みを生かした地域活性化を図るため、行政とは異なる組織として設立し、ふるさと納税に関することなど地域における必要な支援を実施。地場製品のブランド化に取り組み、いちご農家と飲食店を繋ぐハブ企画「ストロベリータウン広陵」は県下最大級の参加店舗数のイベントとなっています。

（2）広陵高田ビジネスサポートセンター（通称、「KoCo-Biz（ココビズ）」）



2023（令和5）年11月時点で延べ2,800件を超える相談を実施し、900件以上の事業者の課題を解決しています。また、相談後に売上が増加した事業者の78%がKoCo-Bizでの相談が売上アップに繋がったと回答する等、相談者の高い満足度と継続率を維持しています。

第2章

広陵町の現状と問題

■ 広陵町の現状

- ・人口：令和4年3月31日現在の総人口は3万5,224人、総世帯数は1万3,669世帯
- ・面積：南北約5.5km、東西約4.5km、面積は16.30km²。県内39市町村で31番目と相対的にコンパクトな規模
- ・主な産業：【農業】なすや米、いちごなど【工業】靴下製造業、プラスチック製造業など

■ 企業における主な問題点（広陵町 中小企業・小規模事業所実態調査より）

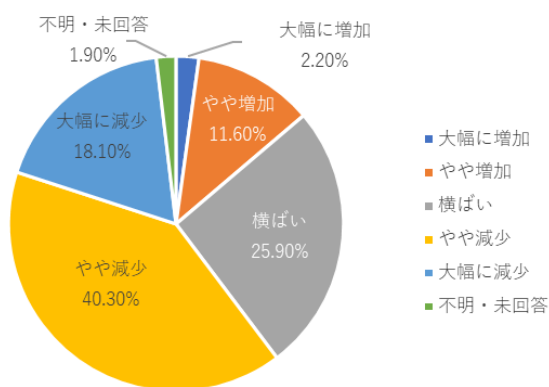


図1 町内事業所の直近3年間の売上高の動向

売上高増加要因			売上高減少要因		
販路・市場の拡大	27	42.2%	販路・市場の縮小	125	46.1%
設備等の新設・更新	12	18.8%	コストの増加	107	39.5%
新製品・サービスの開発・提供	12	18.8%	同業他社との競争激化	35	12.9%
新規事業	11	17.2%	事業範囲の縮小	33	12.2%
資金調達の成功	5	7.8%	販売単価の下落	32	11.8%
人材確保・教育の成功	5	7.8%	設備等の老朽化	22	8.1%
業務手戻・手法の見直し	5	7.8%	人材確保・教育の困難	21	7.7%
施策の利用	2	3.1%	資金調達が困難	9	3.3%
同業他社の減少	1	1.5%	事業所の縮小	6	2.2%
その他	7	10.9%	その他	26	9.5%
無回答	6	9.4%	無回答	15	5.5%
非該当	400		非該当	193	
全体	64		全体	271	

表1 町内事業所の売上高増加・減少要因

第3章

課題の設定

1 人材の確保・育成

労働力人口の減少が大きな課題となっています。若年者や高齢者、女性、外国人、障がい者など、様々な人が活躍できる労働環境のアップデートが必要です。

2 経営基盤の強化

「労働力の確保」「製品・サービスの高付加価値化」「資金調達」「デジタル化」などの経営資源を高め、競争力を強化する必要があります。

3 地域間連携の強化

企業間だけではなく教育機関など幅広い連携が行われ、新たな技術や商品の開発、人材育成により、地域全体の雇用や経済効果が望まれます。

4 情報発信とDX

DXの目的である「効果的かつ効率的な施策の実行」や「顧客体験の向上」、「データ活用と分析」を達成するために、DXを基盤とした情報発信が必要です。

広陵町中小企業・小規模企業振興計画ビジョン

“がんばる企業が集まるまち、広陵町”

基本理念
1

ひと

多様な人材を確保し、後継者を見据えた育成ができる職場環境を整えます。

基本理念
2

働く場

人々が安心して長く働ける場を増やすため、事業の円滑な発展のための支援を行います。また、若い世代による積極的な創業を支援します。

基本理念
3

ネットワーク

中小企業の競争力を高めるため、企業間や地域内、教育機関、金融機関との連携を推進します。

基本理念
4

活性化

町民に優しいデジタル社会を実現するためにDXの推進に取り組み、魅力ある町づくりを進め、町内外に積極的にアピールしていきます。

【がんばる企業とは ～6つの構成要素～】

がんばる企業とは、積極的かつ継続的な事業経営により企業ひいては町の振興に寄与する企業をさします。以下の構成要素を組み合わせることで事業を持続的に成長させることをさします。また、特定の達成基準や業績に関連するものではなく、企業や組織が積極的に努力し、精一杯取り組む姿勢を重視するものです。

1 情熱と努力

経営者や従業員が情熱をもって業務に取り組み、最善の努力を払う必要があります。各自の仕事に誇りを持ち、組織としての成功を追求します

2 イノベーション

新しいアイデアやアプローチを探求し、製品やサービスのイノベーションに取り組めます。競争力維持のために、新たな方法や技術を積極的に導入します。

3 顧客満足度

顧客のニーズを理解し、その満足度を向上させるために行動します。顧客との関係を良好に構築し、品質の向上と優れた顧客サービスを提供します。

4 社会的責任

郷土愛があり、地域支援や雇用、環境への配慮などによって社会的責任を果たし、地域社会の調和と各コミュニティへの貢献に一翼を担います。

5 従業員の成長と福祉

従業員のスキル向上と福祉に注力します。トレーニングやキャリアの発展機会を提供し、従業員の幸福感を向上させます。

6 財務健全性

財務面で健全であり、収益性を確保し、経済的な安定を維持します。資金調達や効率的な財務管理を通じて資金を確保し、適切な成長を維持します。

第5章

中小企業・小規模企業振興に向けた施策

■ 考えられる施策の具体例

基本方針1 人材の確保・育成に関する支援



1. 地域人材の活用
2. 女性や子育て世帯が働きやすい環境整備
3. 定年退職者/障がい者への就労促進
4. 副業人材の活用促進、外国人労働者の就労環境整備
5. テレワーク環境整備促進
6. 人事制度、就業規定等の整備
7. 職場環境の整備、メンタルヘルスケア及び福利厚生
の充実
8. 後継者育成塾やセミナーの開催
9. 小・中学生を対象とした職場体験学習の充実
10. 高校生・大学生へのインターンシップ制度の充実

10. 地域密着型プラットフォームの設立
11. カーボンニュートラルの推進
12. 事業継続力強化計画(BCP)の策定

基本方針3 地域間連携の強化



1. 地域密着型プラットフォームによる異業種間の
交流促進
2. 町内外企業同士の交流会や
ビジネスマッチングフェアの開催促進
3. 人材交流（障がい者就労支援、定年退職者支援、
町内の事業者内での交流）
4. 災害時の事業者と地域住民の連携
5. 町内外の大学との連携強化と事業推進
6. 地域の連携促進支援の充実

基本方針2 経営基盤の強化



1. 創業及び起業に対する支援
2. 商品の高付加価値化、販路開拓の促進
3. 広陵町産業総合振興機構（なりわい）等の支援機関
による商品等開発、ブランディング
4. 企業立地の推進
5. 事業承継の取組
6. 知的財産の保護
7. 海外戦略の拡大
8. 各種展示会やビジネスマッチングへの出展
9. 中小企業経営に関するセミナーや勉強会等の
機会の創出

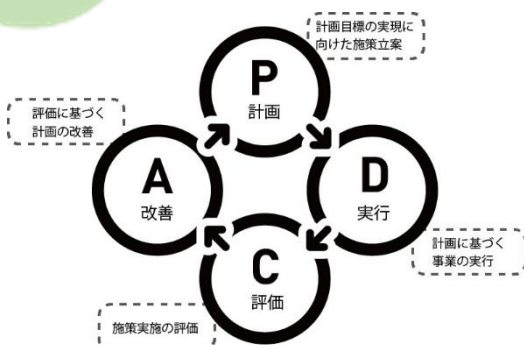
基本方針4 情報発信力の強化とDXの推進



1. 商品デザインや販路開拓の取組
2. オープンファクトリー事業の推進
3. テレワーク環境整備促進
4. DXに関するセミナーや事業者交流会の推進
5. DXにかかる中小企業支援施策の整備
6. SNS等を活用した町内企業の魅力発信
7. 広陵町ブランド発信のためのタウンプロモーションの
実施

第6章

計画の進行管理



■ 課題別小委員会

中小企業・小規模企業の振興を進めていく中で出た課題に対して、その課題に対する解決策を検討および実行していきます。

振興施策の提言



振興施策の検証

■ 中小企業・小規模企業振興会議

本計画に必要な施策の提言や、課題別小委員会から提案された振興施策の検討や実施中における検証を行っていきます。